

北海道科学大学では昨年度に引き続き全15回の公開講座を開催します。北海道薬科大学との統合により新設された薬学部をはじめ、工学部、保健医療学部、未来デザイン学部、短期大学部、全学共通教育部が、各公開講座を担当します。

北海道科学大学
だより

2018年

8月号

<https://www.hus.ac.jp/>

臨床

「医療機器のスペシャリスト！ 臨床工学技士の仕事と医療機器を使った治療の原理」

臨床工学科 渡邊 翔太郎 助教

2018年8月27日(月) 13時～14時30分
北海道科学大学A棟 A106 教室

臨床工学技士は、現代の医療に欠かすことのできない医療機器を扱う専門医療職です。比較的新しい医療職ですが、今後益々発展する医療機器の安全性確保や有効性維持の担い手としてチーム医療に貢献しています。そのような臨床工学技士の仕事や活躍の場について紹介します。また、臨床工学は医学と工学の学際的な学問で、臨床工学からみる治療の原理について実際に医療機器を使用してお話します。

薬学

「感染予防とワクチン」

薬学科 前田 伸司 准教授

2018年8月30日(木) 10時～11時30分
北海道科学大学A棟 A110 教室

身近な感染症の例として、夏場の食中毒、冬場のインフルエンザウイルス感染症などがあります。一方、適切な治療を受けたり、適切な行動をとらないと多くの人に感染を広げ、時として自身も死に至るような重篤な感染症も存在します。これらの病原体(結核菌などを含めて)の感染や発症を防ぐための方法や診断法などについてお話しします。

理学

義肢

「歩行分析は医療の現場や研究にいかに活用されているか？」

～転ばぬ先の杖というように歩くことが難しくなる前の準備と医学的評価の重要性を講演します～

東京女子医科大学 リハビリテーション科 和田 太 准教授

2018年9月2日(日) 14時15分～15時15分
北海道科学大学G棟 G203 教室

転倒による骨折や脳卒中などで歩くことが困難になることが原因で重篤な要介護状態になるケースが今日の日本では多くなっています。少子高齢化が加速度的に進むなか、老々介護もまた、社会問題になっています。歩行困難者に対して、医師や理学療法士を始めとした医療従事者がどのように、歩くことを評価、分析し、治療に役立てているのかを知ってもらいたい機会だと思います。臨床医の立場から、歩くことについて評価することの重要性について皆さんで考えていければと思っています。

■申込 ①氏名 ②電話番号 ③参加希望講座名 を電話 011-676-8664 またはメール (chiiki@hus.ac.jp) でお知らせください。

本学にお車でお越しになる場合、校舎西側の第1駐車場または第2駐車場をご利用ください。



北海道科学大学

北海道科学大学短期大学部

+Professional (2018年 北海道薬科大学と統合)

お問い合わせ 011-676-8664
E-mail chiiki@hus.ac.jp

北海道科学大学 地域連携・広報課

〒006-8585 北海道札幌市手稲区前田7条15丁目4-1

TEL: 011-676-8664 FAX: 011-688-2392 HP: <https://www.hus.ac.jp>